

平成 28 年度 事業計画

研究大会

認知症市民フォーラム・研究大会の実施（継続事業・2月5日実施予定・常陸太田地区）

昨年度同様、認知症の市民フォーラムとして、継続する。基本的には例年通り実行委員会を発足し、委員会にて内容を検討・実行する。

研修関係

① 実務者研修事業

昼のコースにて6か月開講。

平成 28 年 7 月 1 日開講 ～ 平成 28 年 12 月 31 日修了 開講決定

平成 29 年 1 月 1 日開講 ～ 平成 29 年 6 月 31 日修了 開講予定

② 喀痰吸引等研修

昼のコースにて実地研修含め、約9か月開講。

平成 28 年 3 月 24 日開講 ～ 平成 28 年 11 月 24 日修了 実施中

平成 28 年 9 月 1 日開講 ～ 平成 29 年 5 月末日修了 開講予定

* 一部、複数事業所連携にて実施予定

③ 複数事業所連携事業 ※予算が出ましたら、改めてご報告させていただきます。

介護支援専門員受験対策講座 (水戸・龍ヶ崎会場 全4回)

介護福祉士受験対策講座 (水戸・龍ヶ崎会場 全3回)

地域密着型運営実践セミナー (水戸・県西会場 全4回)

キャリア段位取得のための実践研修 (水戸・龍ヶ崎会場 全3回)

喀痰吸引等研修 (水戸会場 全10回)

茨城県ボランティア・市民活動推進事業

茨城県社会福祉協議会の一つの事業「茨城県ボランティア・市民活動推進事業」を活用し、研修会を実施。

女性・若者企画提案チャレンジ支援事業

茨城県の一つの事業「女性・若者企画提案チャレンジ支援事業」を活用し、研修会等を実施。

茨城県・市町村合同 意見交換会

制度政策委員会の基もと、制度上の課題点等を行政・関係諸団体を交え、年に1回の意見交換会を継続事業として実施する。

介護の日

例年通り、11月11日の前に県庁内で一週間程度のポスターやデモンストレーションを実施し、当協議会の活動等の告知などを行う。

全国グループホーム団体連合会の活動

全国グループホーム団体連合会との連携（継続）

全国グループホーム団体連合会 → グループホームの会員会費より1000円を連合会
年会費として納入し、活動を支援する。
理事より代議員を1名・代議員補佐を1名。

平成28年11月4日（金）に、「第4回 全国フォーラム」を茨城県民県立文化センターにて実施。

被災地支援活動

平成28年4月の熊本大地震での被災支援金の募集。被災地への介護職員派遣。

<各委員会 活動計画>

SOSネットワーク構築委員会

- ・認知症相談窓口 事業（通年・継続事業） *SOS委員会にて実施
全体の電話による相談窓口の設置
窓口設置研修事業の継続 研修会を2回（県央・県南地区にて開催）
タウンミーティングの開催 各地区1回
- ・SOSネットワーク構築事業（通年・新規事業） *SOS委員会にて実施
認知症の方のための徘徊訓練等の実施に対する支援活動
ネットワークづくりに関する検討会の実施

1ユニットグループホーム委員会

- ・1ユニットのグループホームへの支援活動（通年・継続事業）
委員会として、1ユニット会を発足し、1ユニットのグループホーム（小規模GH）の
運営等に関する支援や、情報交換会などを開催する。委員会を中心とした活動とする。
→情報交換会を12月頃に実施する。

制度政策委員会

- ・制度政策情報交換会の実施（通年・継続事業）
昨年度からの委員会活動で構築された、制度上の課題点等を行政・関係諸団体を交え、意見交
換会を実施する。（年1回を実施）

広報委員会

- ・広報誌の発行（通年・継続事業）
ホームページの内容の充実 → 閲覧状況の検証実施
フェイスブックを活用した、タイムリーな情報の展開

デイサービス部会

- ・デイサービスの事業者団体としての役割の確立
→ 特に小規模デイサービスの地域密着型への移行を踏まえた活動を計画
- ・デイサービス事業者の会員拡大

フォーラム実行委員会

- ・認知症市民フォーラムの準備と実施（継続事業）

<< 活動の活性化のための 委員会詳細 >>

委員会 ⇒ いくつかの委員会を構成し、従来のように理事会のメンバーにて構成を中心とするのではなく、会員からも委員を募集することでより一層の会の広がり期待したい。会員が参加できる委員会活動を展開する。

SOSネットワーク構築委員会

- SOSネットワークの構築に向けた研究・実施に向けた検討を行う

1ユニットグループホーム委員会

- 1ユニットの運営支援、情報交換会

制度政策委員会

- 介護保険制度改革や報酬改定等の政策提言を行う

広報委員会

- 会報誌・会員向け情報の作成

デイサービス部会

- 事業者団体としての役割確立

フォーラム実行委員会

- 研究大会開催に向けての検討と実施